NS物流研究会「第16回物流関連ゼミ学生による研究発表会」
テーマと概要

2024.12.7(土)

No.	開始時間	大学・ゼミ名	テーマ	概要
1	13:20	城西大学 上村ゼミ	トラックドライバーの不足と改善策について	近年の物流業界、及びトラックドライバー業界では、ネット通販等の普及により配送の需要が高まっている中、人手不足が深刻的な問題となっている。さらには2024年問題の直面による更なる人手不足が懸念されている。その解決策を学生へのアンケートをもとに提案する。
2	13:55	大阪産業大学 浜崎ゼミ	女性ドライバーのアンケート調査からの考察	女性ドライバーを増やすために、女性ドライバーにアンケート調査を実施し、現状把握するとともに、増やすための対策を考察する。
3	14:30	神奈川大学 齊藤ゼミ	荷待ち時間の実態と削減に向けた取組に関する研究	本テーマは2024年問題の中でも大きな課題の1つである荷待ち時間の削減について取り組んだものである。国土交通省のデータによると、荷主の荷待ち時間への意識は非常に低いことが示されている。荷待ち時間について、荷主企業や物流企業といった現場へのヒアリングやデータを用いて、荷主企業に荷待ち時間について着目してもらうためにはどうしたらよいのか、また荷待ち時間を削減するためにどのような対策が考えられるのか分析する。
4	15:05	朝日大学 土井ゼミ	災害未満時のトラック運送事業に関する研究	本研究は、自然災害に至らないが業務に支障を及ぼす可能性がある「災害未満」の状態におけるドライバーの判断や対応、業務に与える影響の程度、事前の情報共有や準備の有効性、会社側の支援体制や改善点に対する認識を収集し、ドライバーの現場での知見を基に今後の業務対応や安全対策の改善に資することを目的とする。
5	15:40	東京海洋大学 黒川ゼミ	トラックドライバーの作業負担の改善と事故防止に関する研究	時間外労働時間の上限規制に伴う輸送力不足、所謂、物流の2024年問題が社会的な問題として注目されている。この問題の解決策の一つとして、荷主先における荷待ち時間等の削減が求められているほか、近年は荷役作業中の労働災害が増加していることから安全面での対策も求められている。 そこで、ヒアリングを通して物流現場における荷待ちや事故等の実態を把握するとともに、現在の対応状況について確認する。そして、実態把握から改善に向けた有効な対策や関係者間の協力体制について検討した内容を報告する。